

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 6月17日 更新

事務事業名		総合健康センター施設維持管理事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせ るまちづくりの推進		<input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」 の構築		<input type="checkbox"/> 産業の共生による市経 済の持続的発展		
総合 計画 体系	政策	1	自治の健全		所属部	産業振興部	課長名	衛藤 和博			
	施策	2	行政経営の推進・改革		所属課	商工振興課	担当者名	樋口 良平			
	業務分野	12	公有財産の管理運営		所属班	商工振興班	(内線)	5215			
予算科目		会計 一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11284	法令根拠	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」条例 指定管理者協定書			
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成13年7月、西合志町総合ふれあい健康センター「ユーパレス弁天」が開館。(管理運営業務を概にしごうしに委託) 地方自治法改正に伴い、管理委託制度から指定管理者制度に移行し、第1回目の指定管理者協定を概にしごうしと平成18年8月～平成21年9月の期 間で締結した。 ○合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の管理運営業務についての助言及び経営状況確認 ○指定管理者協定書に基づく、合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の施設維持管理事業。 ○現指定管理期間は、平成21年10月～平成24年3月であり、平成23年度に指定管理者更新を行い、引き続き概にしごうしを平成24年4月から 平成26年3月までの2年間、指定管理者として指定した。 ○平成24年度に「大規模改修検討委員会」を開催し、開館後10年経過し老朽化が著しい施設の大規模改修の内容を検討した。 ○平成24年度に「大規模改修検討委員会」の発注に基づき、改修設計委託業務を行った。 ○平成25年度に大規模改修工事を行った。また、指定管理者選定を行ない平成30年度までの新たな管理者を指定した。 ○平成26年度から、新たな指定管理者による運営が行われた。(平成30年度まで) ○平成31年春に北熊本スマートインターチェンジの開通見込みであったことから、設備と特定天井の大規模改修を1年先に延ばし、平成31(令和元 年)年度は昨年度までの指定管理者に運営させることになった(12月議会上程)。 ○令和元年度は、令和2～5年度(4年間)の公募により指定管理者選定を行うとともに、施設の保全計画・改修計画策定を行った。 ○令和2年度は、特定天井の耐震化工事及び温泉熱設備導入工事を行う。 ○令和4年度より、業務委託による直営での運営を実施。 ○令和5年度は、屋根外壁等改修工事を実施。
【業務の流れ】	施設の運営および維持管理を業務委託により実施。 ○各テナントへの行政財産使用料許可と行政財産使用料収納事務 ○燃料費(重油、LPガス)の単価契約事務及び毎月の支払い業務 ○警備業務委託の契約事務及び毎月の支払い業務 ○水道及び電気料金の毎月の支払事務 ○会計年度任用職員3名の報酬支給事務 ○必要な消耗品および施設等の修繕の実施
【主な予算費目】	委託料、人件費、消耗品費、施設修繕費、工事請負費、負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

公開型プロポーザルによる事業者選定を経て、株式会社アスクメンテナンスと運営及び維持管理業務契約を締結した。受託者の業務報告により、委託業務内容を精査し、毎月委託料を支払った。光熱水費については、各種契約を締結し、毎月の請求に伴い、支払いを行った。専任の職員については、報酬支払い業務(会計年度任用職員の人事庶務)を行った。修繕については、業務報告から優先順位を決めた上で、順次行ったが、6月の落雷被害、年末の温泉天窓壁修繕や高圧ケーブル工事など、緊急工事が必要となり、2ヶ月弱の休館となった。結果としては、市民の健康増進と賑わい創出を支援し、約38万人の来館者となった。また、今後の運営方針等を決定するため、市民アンケートと業者サウンディング調査を行った結果、多世代が楽しめる施設にするべく、令和9年度から指定管理制度へ移行するために、令和7年度に大規模改修設計業務を行い、令和8年度に工事する計画となった。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

今年度引き続き直営での施設運営を行っていく。
 令和9年度からの指定管理制度移行のために、1年前倒しで指定管理候補者を選定する。(管財課連携業務)
 保全計画に基づき必要箇所の修繕工事を行う。

③予算の主な増減の理由

【拡充事業】大規模改修設計業務委託等の追加による委託料の増

成果指標

ア	修理済箇所数/要修理箇所数	%	
イ	苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数	%	

(単位)

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	0	0
	イ	%	100	100	80	100	80	80	0	0
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円	2,500	106,300				81,900	98,100	
	その他	千円	106,110	114,677	114,139	113,079				
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	116,464	100,394	146,804	126,685	246,535	100,635	102,435	94,535
(A)事業費計	千円	225,074	321,371	260,943	239,764	246,535	182,535	200,535	94,535	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

業務委託業者と連携を取りながら、改修箇所の確認と改修工事を行い、適切な施設管理を行なうことができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)